

令和 7 年

壱岐市議会定例会 1 2 月会議

行政報告

壱岐市

目 次

1. はじめに	1
(1) 有人国境離島法の延長・改正に向けた取組	2
(2) 壱岐カルチャーターミナルフェス2025の開催	3
(3) ジェットフォイルの更新	4
(4) ふるさと納税の推進	4
2. 交流人口の拡大	
(1) 神々の島壱岐ウルトラマラソンの開催	6
(2) ながさきピース文化祭・壱岐市総合文化祭の開催	6
(3) 大型客船の誘致	7
(4) スポーツ合宿の誘致	7
3. 産業の振興	
(1) 農業の振興	8
(2) 水産業の振興	8
4. 市民生活の維持	
(1) 国民健康保険直営診療所（湯本診療所）の閉院	9
(2) 健康寿命の延伸	10
(3) 還暦式の開催	10
5. 教育の推進	
(1) 幼稚園の統合	11
(2) こどもたちの活躍	11
6. 安全・安心なまちづくり	
(1) 防災訓練の実施	12
7. 議案説明	
(1) 補正予算	13
(2) その他の議案	13
8. おわりに	13

行政 報 告

令和7年壱岐市議会定例会12月会議

1. はじめに

本日ここに、令和7年壱岐市議会定例会12月会議の開催にあたり、9月会議以降、本日までの市政の重要事項及び今回補正予算に計上した主な内容等についてご報告申し上げます。

はじめに、令和7年秋の叙勲において、本市から元勝本町消防団分団長の 香椎 憲正 様が消防功労として瑞宝単光章を、第45回危険業務従事者叙勲において、元壱岐市消防司令長の 安永 雅博 様が瑞宝双光章を、令和7年12月1日付け高齢者叙勲において、元芦辺町議会議員の 野元 康雄 様が地方自治功労として旭日単光章を、また、本市の壱岐ウルトラマラソンの開催に対し、多額の企業版ふるさと納税によるご寄附を賜りました株式会社ファウンテック様（代表取締役社長 万谷 正 様）が、紺綬褒章を受章されました。

次に、内閣府が選考する令和7年度エイジレス・ライフ実践事例において、本市の地域福祉及び高齢者福祉の増進に貢献された認知症の人と家族の会長崎県支部壱岐地区会（はまべの会）会長 長岡 祥三 様がエイジレス章を受章され、国民参政135周年・普通選挙100周年・婦人参政80周年記念における選挙関係功労者表彰において、壱岐市選挙管理委員会委員長の 西 雪晴 様並びに壱岐市明るい選挙推進協議会会长の 久田 昭生 様が総務大臣感謝状を受賞されました。

11月15日の令和7年度ながさき農林業大賞におきましては、本市から農産部門で 農事組合法人 五月 様が長崎県知事賞を、しま

の農林業経営部門で 合同会社 タカセファーム 様が運営委員会長賞を、同じくながさき水産業大賞において、魅力ある漁村づくり部門で 壱岐栽培センター所長の やまなか ひろき 山仲 洋紀 様が長崎県知事賞を受賞されました。

さらに、令和7年県民表彰において、本市から社会福祉功労として郷ノ浦町の すえなが たかよし 末永 孝好 様が受賞されました。

この度、叙勲、褒章並びに表彰をお受けになった皆様に対し、今まで築かれたご功績に、深甚なる敬意を表しますとともに、心からお慶び申し上げます。

(1) 有人国境離島法の延長・改正に向けた取組

有人国境離島法は、令和8年度末で期限を迎えることとなっていることから、本市を含めた県内離島自治体と長崎県が連携して、同法の延長・改正に向けた取組を進めているところです。

これまでの動きとしましては、8月22日に大石県知事、外間県議会議長並びに関係市町の首長による、国会議員及び関係省庁への要望活動を行い、また9月29日から9月30日にかけて、自由民主党有人国境離島地域の保全・振興を推進する議員連盟から山谷 やまたに えり子会長代行をはじめ6名の国会議員の皆様に、本市の視察にお越しいただきました。

10月30日には、関係市町の民間団体の代表者、議会の代表者並びに首長による国会議員及び関係省庁への要望活動を行い、11月22日には、壱岐の島ホールで山本参議院議員をはじめ関係国会議員の皆様、大石県知事、内閣府参事官等をお迎えして、総決起大会

を行ったところです。総決起大会には約600名の市民の皆様にご参加をいただき、同法の延長・改正に向けた本市の思いの強さが伝わる大会となったものと感じております。

期限まで残された時間は多くはありませんが、有人国境離島法の延長・改正に向けて、より一層力を尽くしてまいりますので、市民皆様におかれましても、本市一丸となったさらなる機運醸成につきまして、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

(2) 壱岐カルチャーターミナルフェス2025の開催

カルチャーターミナル壱岐プロジェクトの一環として、一支国博物館を主会場に「壱岐カルチャーターミナルフェス2025」を、11月29日及び30日に開催しました。

当時は島内外から約650名の皆様にお越しいただき、建築家伊東 豊雄 氏による基調講演をはじめ、全国の離島で活躍するキーパーソンによるトークセッション、エンゲージメントパートナー企業による展示・体験ブース及びイベントを盛り上げるライブパフォーマンスなど多彩なプログラムを通じて、市民及び島外参加者にとって新たな発見と交流の機会となり、壱岐の未来をともに考える2日間になったものと感じております。

また、長崎国際テレビとの番組タイアップにより、タレントのルータ大柴 さんをアンバサダーに迎え、オープニングスペシャルトークも開催し、官民連携や島内外の共創をテーマに、笑いを交えながら軽妙なやりとりで会場を大いに盛り上げていただきました。

本フェスを通じ、市民皆様がエンゲージメントパートナー企業の

取組に触れることで、地域課題解決に向けて考える場、きっかけづくりになったと考えております。今後も継続的な交流や新事業の展開により、「カルチャーターミナル壱岐」の実現を推進してまいります。

(3) ジェットフォイルの更新

ジェットフォイル「ヴィーナス2」の更新につきましては、11月21日に九州郵船株式会社から九州郵船並びに独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構の共同発注により、川崎重工業株式会社との新船建造契約が締結された旨の報告を受けました。

今後、令和11年6月の引渡しに向けて建造が進められることになりますが、議決いただきました予算の適正な執行とともに、国・県・対馬市等と連携し、定期的な進捗状況の確認に努めてまいります。

(4) ふるさと納税の推進

ふるさと納税につきましては、毎年、壱岐出身の皆様をはじめ本市を応援していただく全国の方々から寄附をいただきており、本市の貴重な自主財源となっております。11月末現在の実績は、昨年同月比で120%の約4億2千万円の寄附をいただきており、増加した主な要因としましては、各ポータルサイトのポイント付与が9月末で終了し、その駆け込みで寄附が増加したことによるものです。例年、年末に向けて寄附が増加する傾向にありますが、本年度の目標額である10億円の達成に向けて、引き続き広報活動等に取り組んでまいります。

このような中、新たな取組として長崎県内初導入となる旅先納税「壱岐たびP A Y」を、10月20日から開始しております。壱岐たびP A Yは、旅行者が壱岐に来島される際に、専用のポータルサイトからスマホなどで寄附をしていただき、返礼品として寄附額の3割相当の電子マネーを受け取り、加盟店で宿泊費や飲食代、体験、物販等にご利用いただく仕組みとなっております。現在、加盟店の登録増加に取り組んでいるところであり、今後は観光面での寄附額増加も期待しております。

一方で、ふるさと納税を取り巻く情勢は、大変厳しい状況が続いております。9月末には県内の自治体を含む4自治体が、寄附額に対して返礼品等の経費が50%を超えていたために認定取消しになつており、当該4自治体は10月1日から2年間、ふるさと納税の受け入れができない状況となっております。本市としましても、同様の事態を招かないよう細心の注意を払い、引き続き適切に対応してまいります。

今後も、関係する基準の見直し等が予定されておりますが、本市の主要施策実現のための貴重な自主財源でありますので、認定基準を遵守したうえで、寄附者のニーズに合った返礼品の商品開発・ブランドアップ、安定供給を図り、新たな取組の導入等も検討しながら、第4次壱岐市総合計画に掲げる年間寄附額30億円を目指した取組を引き続き進めてまいります。

2. 交流人口の拡大

(1) 神々の島壱岐ウルトラマラソンの開催

10月18日に開催した「神々の島 壱岐ウルトラマラソン2025」は、全国各地から過去最高となる878名のエントリーをいただき、当日のスタート時は悪天候に見舞われましたが、日中は天候も回復し、100Kmに556名、50Kmに241名、総勢797名のランナーが出走され、大きな事故等もなく、581名のランナーが完走されました。大会後のアンケートの結果では、ランナーの皆様から高評価の感想を頂いています。

1,000名を超えるボランティアスタッフの皆様をはじめ、沿道からのあたたかい声援やコース周辺の交通規制等、円滑な大会運営にご協力をいただいた市民皆様、協賛及び支援をいただいた企業並びに各種団体の皆様等、今大会を支えていただいた全ての皆様に、心からお礼と感謝を申し上げます。

(2) ながさきピース文化祭・壱岐市総合文化祭の開催

9月14日から長崎県全域で開催されていた「ながさきピース文化祭2025」は、11月30日を最終日に閉幕しました。本市では、9月14日に一支国博物館で開催したオープニングセレモニーを皮切りに、^{なつい}夏井 いつき 先生による講演会等、さまざまな事業や関連イベントを実施してまいりました。その中でも11月2日から3日にかけて開催しました「壱岐市総合文化祭」は、市民皆様が力を結集し創り上げた壱岐市最大級の文化の祭典となりました。

このながさきピース文化祭事業を契機としまして、本市の様々な

文化を次の世代に継承し、そして交流人口の拡大にも繋げていく関連事業を引き続き推進してまいります。

(3) 大型客船の誘致

10月22日、大型客船 にっぽん丸が本市へ寄港し、323名の方々が来島され、うち253名が島内の観光名所を巡るオプショナルツアーに参加されました。本市では壱岐市観光連盟及び関係事業者等と連携し、岸壁での物産販売、人面石くんとの写真撮影、太鼓演奏、漁船パレードでのお見送り等、歓迎イベント等を実施したところです。

また、にっぽん丸は令和8年5月をもって引退することが発表されており、本市への寄港は今回が最後となることから、市民向けの船内見学会が開催され、30名の方々が参加されました。今回、企画いただきました阪急交通社様にお礼申し上げますとともに、今後も大型客船寄港による経済効果はもとより、リピーター獲得へ繋げるため、長崎県をはじめ市観光連盟等と連携し、さらなる誘致に向けて積極的に取り組んでまいります。

(4) スポーツ合宿の誘致

スポーツ合宿誘致により、来年2月9日から広島経済大学陸上競技部が、2月18日からは本市で初の合宿となる中電工陸上競技部が、また、これまでも合宿の実績のある富士山GXホールディングス長距離陸上競技部並びにYKK陸上長距離部が、合宿を行う予定です。合宿誘致にあたっては、各種競技のチーム事情やニーズに応えることのできる柔軟な受入体制を整備しておくことが肝要であり、

引き続き「スポーツ合宿を壱岐島で！」の定着に向けた取組を進めてまいります。

3. 産業の振興

(1) 農業の振興

令和9年の全国和牛能力共進会北海道大会を見据え、11月6日に県南家畜市場で開催された長崎県和牛共進会において、第1区の田口 幸男 様、第3区の 山口 弘友 様、第4区の 山内 清 様の牛が、1等賞1席を受賞しております。

このような中、12月1日、2日に開催された子牛市では、平均価格が10月市と比較し、1頭当たり約12万5千円高の平均74万7千円で、上向きの取引となっております。今後も産地維持のため、関係機関と連携を図り、肉用牛における基盤の強化を推進してまいります。

有害鳥獣対策については、勝本町片山地区及び本宮東地区において、イノシシの目撃情報が寄せられました。このため、現地調査を実施し、くくり罠を設置しておりますが、今回、早期捕獲に向けた対策を強化するための所要の予算を計上しておりますので、ご審議賜りますようお願いいたします。

(2) 水産業の振興

現在、スルメイカにつきまして、クロマグロと同様に資源管理のための漁獲枠が設けられておりますが、令和7管理年度の全国で管理する5トン以上30トン未満の漁船が営む小型スルメイカ釣り漁

業において、北海道から三陸沿岸で豊漁が続き、漁獲枠を9月末時点で超過しており、国で留保されていた追加配分でも追いつかず、11月1日から水産庁より採捕停止命令が出されております。

これから最盛期を迎えるスルメイカ釣り漁のみならず、スルメイカを餌とするその他の釣り漁にも大きな影響を与えますので、現在、県をはじめ多くの関係者から増枠等の要望が水産庁に寄せられているところです。市といたしましても、今後の動向を注視するとともに、漁業者のご意見をお聞きしながら対応してまいります。

4. 市民生活の維持

(1) 国民健康保険直営診療所（湯本診療所）の閉院

壱岐市国民健康保険直営診療所である湯本診療所は、昭和34年の開設以来、地域医療を支えてまいりましたが、近年は利用者の減少に伴い、診療収入が大幅に減少し、また診療を担っていただいている 平山 長一朗 医師から、令和8年3月末をもって引退の意向が示されていました。そこで新たな医師の確保も極めて困難なことから、令和8年3月末をもって閉院することといたしました。これまで地域医療の維持にご尽力いただきました平山先生に対し、深く感謝を申し上げます。

地元関係者へは説明会を開催し、ご理解を得たところであります。引き続き地域皆様の安心につながる医療の確保に努めてまいります。今回、湯本診療所に関連する条例の廃止及び一部改正について議案を提出しておりますので、ご審議を賜りますようお願いいたし

ます。

(2) 健康寿命の延伸

第7回健康長寿日本一長崎県民会議総会が11月13日に開催され、「令和7年度みんなで“歩こーで！”長崎県市町対抗歩数競争」において、本市が2年連続第1位を受賞しました。昨年の取組を契機として、健康づくりの輪が広がっていることを感じております。同じく企業・団体対抗歩数競争において、株式会社イチヤマ様が第1位を受賞されております。社員皆様が一丸となり、健康増進活動に継続して取り組まれた結果の受賞であります。

今後も、市民皆様の健康寿命の延伸を図るため、事業所等とも連携しながら、運動習慣の定着に向けた取組を、より一層推進してまいります。

(3) 還暦式の開催

11月14日に開催した令和7年度壱岐市還暦式には、本年度に還暦をお迎えになる市内143名、市外152名、計295名の方々が参加され、友人や仲間との久しぶりの再会に、大変な盛り上がりを見せました。全国でも珍しい還暦式を機に、中学校や高校の同窓会も開催されることから楽しみにされてある方が多く、また経済効果や郷土愛の醸成等、還暦式がもたらす効果は大きいと捉えていますので、今後も継続して開催してまいります。

5. 教育の推進

(1) 幼稚園の統合

幼稚園の統合につきましては、8月の保護者説明会に続き、令和8年度に閉園を予定している勝本幼稚園並びに箱崎幼稚園において、10月に保護者説明会を開催し、土曜日の預かり等の保護者支援や統合後の幼稚園行事等についての説明を行うなど、統合に向けた準備を進めているところです。今回、当該幼稚園の閉園に係る条例の一部改正について、議案を提出しておりますので、ご審議を賜りますようお願いいたします。

今後も幼稚園の統合につきましては、保護者並びに関係される方々と連携を図りながら進めてまいります。

(2) こどもたちの活躍

11月6日に諫早市で開催された令和7年度長崎県中学校総合体育大会駅伝競走大会において、郷ノ浦中学校男子チームが優勝し、11月29日に開催された九州大会へ出場しました。また本県代表として、12月14日に滋賀県で開催される第33回全国中学駅伝大会へ出場します。駅伝競技における県大会での優勝は、昭和61年の勝本中学校男子チーム以来、39年ぶりの栄冠であります。

学習面においては、令和7年度租税教育推進校等表彰において、郷ノ浦中学校が国税庁長官表彰を受賞しました。これは全国の小学校、中学校及び高等学校を合わせ、受賞14校の内の1校となっております。表彰理由としては、毎年、租税教室を開催するだけでなく、担当教師による復習授業を行う等の工夫や税についての作文も毎

年応募があるなど、租税教育に力を入れて取り組んでおり、これらの活動の継続性は、他の模範であるとして選ばれたものです。

このように、本市のこどもたちの活躍を大変うれしく頬もしく思いますとともに、こどもたちが今後も一層の成長と飛躍を遂げられるよう、引き続き支援してまいります。

6. 安全・安心なまちづくり

(1) 防災訓練の実施

10月5日、長崎県と本市を含む県内4市合同による長崎県原子力防災訓練を実施しました。これまで行ってまいりました情報収集伝達訓練、住民避難誘導訓練、原子力災害医療訓練等に加え、新たな取組として、UPZ圏内の介護施設からUPZ圏外の施設への入所者避難訓練のほか、海上自衛隊のヘリによる長崎医療センターへの傷病者搬送訓練も実施したところです。

11月9日には、芦辺漁港一帯において、令和7年度壱岐市防災訓練を参加機関34組織・約300名の方に参加協力をいただき、実施しました。訓練は壱岐市東方沖を震源とするマグニチュード7.0の地震が発生し、本市で震度6強の地震を観測、地震による津波の襲来を受け、付近で家屋の倒壊・地すべり・火災等により甚大な被害が発生したと想定し、被災者の救助訓練等、実践的な内容により訓練を実施したところです。

今後も、関係機関との連携を密に図り、成果と課題を検証しながら、防災対策に万全を期してまいりますので、市民皆様におかれま

しては日頃の備え、さらには自主防災組織での取組など、自助・共助に努めていただきますようお願いいたします。

7. 議案説明

次に、議案関係についてご説明いたします。

(1) 補正予算

本議会に提出した令和7年度補正予算の概要は、一般会計補正額1億9,635万9千円、各特別会計の補正総額1,364万9千円となり、本定例会に提出いたしました一般会計、各特別会計の補正額の合計は、2億1,000万8千円となります。なお、現計予算と合算した本年度の一般会計予算は、269億6,205万1千円で、特別会計については、80億2,393万3千円となっております。

(2) その他の議案

本日提出いたしました案件の概要は、損害賠償の額の決定に関する専決処分の報告2件、条例の一部改正・廃止に係る案件11件、公の施設の指定管理者の指定に係る案件5件、予算案件4件であります。何とぞ慎重にご審議をいただき、適正なるご決定を賜りますようお願い申し上げます。

8. おわりに

以上をもちまして、9月会議以降の市政の重要事項また政策等についてご報告いたしましたが、様々な行政課題に対し、今後も誠心誠意、全力で取り組んでまいりますので、議員各位並びに市民皆様

のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年12月5日

壱岐市長 篠原一生